

イ ド バ タ IDOBATA会議@Koharu	2012年4月号 発行：小春学院
-----------------------------	---------------------

★☆☆☆★☆☆☆★☆☆☆★4月のありがとう★☆☆☆★☆☆☆★☆☆☆★

小春学院の受験もひとまず落ち着きました。受験生のみなさん、保護者のみなさん本当にお疲れ様でした。子ども達の進路には、周囲の人の支えが絶対必要です。学校、塾という学びの場だけでは子ども達の進路に対する援助には限界があります。そういう意味で、今回の受験につきましては、さまざまな方のご支援がありました。本当にありがとうございました。

誤解されている「国語」(2)

こんにちは。発刊が遅れましたことお詫び申し上げます。ご批判を承知で言い訳を申し上げますと、私の仕事は毎年3月～7月下旬にかけて集中します。その中で、3月の受験が終わったときに体調を崩してしまい、スケジュール調整が乱れてしまいました。『IDOBATA 会議』は書き始めるとあっという間に行が埋まるのですが、書き始めるまでがなかなか調整できません。ああ、まとまった時間を探さないといけませんね。

今回も先月に引き続き、国語についての誤解を少し書いてみたいと思います。

3. 「答えは文章の中にある」…情報という宝探し迷路に陥っていませんか？

国語が得意な人が、国語が苦手な人という言葉に「答えは文章中にある」というものがあります。確かにその通りです。文章から逸脱したことを解答として求めることはありません。極端な話、太郎君と次郎君のやりとりが書かれただけの話の中で、太郎君のお父さんの職業を聞くようなトンチンカンな設問はあり得ません。

しかし、「答えは文章中にある」ということをいうと、文章を読まずにすぐに設問を読み出して、その中から答えの部分を探し出そうとする人がいます。字数指定がある抜き出し問題があると、その字数に合わせた答えになりそうな部分を抜き出すために探し出そうとする人がいます。まるで宝探しのようによい。

情報の宝探しをするのはひとまずよしとしましょう。しかし、宝探しには地図が必要です。宝があるよと言われただけでいきなり宝探しをする人は果たしているのでしょうか。途方もない宝探しになりませんか？その宝探しは楽しいですか？

宝探しの楽しさは、もしかすると地図を読み込む楽しさではないでしょうか。この地図の謎解きが楽しいのです。ここには何があるのかな？あそこには何があるのかな？というように地図そのものを読むことが楽しくないと、宝探しは楽しくなりません。

お分かりになると思います。地図というのは文章です。文章を読んで書かれたことを分かることが楽しくならないと、宝つまり設問に応じた解答を見つけることは楽しくなりません。もちろん、設問を解くことありきの国語の学習は望ましいものではありません。しかし、設問がある以上はその設問に対して適切な解答を求めないといけません。そのときに、解答ばかりに執着して本来身につけなければならない力をおろそかにしてはならないのです。国語の学習にとって本当に大切なことをもう一度振り返らなければならないでしょう。

4. 「これぐらい分かるよ」…そんなに相手に依存しますか？

作文を書くとき、あるいは記述解答を作成するとき、人と会話するときのことです。日本語の特性からでしょうか、主語（主に「～は、～が」に相当する部分）や動作の対象を示す修飾語を省いたり、あるいは「これ」、「あれ」、「それ」などの指示語を多用したり、単語だけしか示さなかったりすることはありませんか。これらは無意識に「これぐらいは分かる」、「分かってくれるはず」という相手に依存する文づくりです。では、読み手にはどのように受け取られるのでしょうか。

読み手、あるいは聞き手がご家族であれば、ある程度わかってくれます。それは家族の中で共有

できる文脈があるからです。日本人には共有できる文脈がたくさんあります。俳句や短歌などはそのような文化的な背景によって作り上げられる文学形式と言えるでしょう。省略や指示語の多様、単語だけの使用も日本語だからできることです。非公式の場でのものであれば、このようなことは遣いで十分でしょう。

しかし、作文や記述解答、面接などの公式の場では、省略や指示語の多様、単語のだけの使用では、誤解を生み出す恐れがあります。例えば、ご家庭では「お母さん、水！」と子供が言えば、「はい、水よ」とお母さんはお水を手渡ししてくれます。しかし、「お母さん、水！」というこの部分だけでは、たくさんの解釈が含まれてしまいます。「お母さん、水こぼしたよ」、「お母さん、水が出ないよ」、「お母さん、水欲しい?」、「お母さんは水」…。作文や記述解答、面接では多様な解釈があり得る文を発信しては困ってしまいます。作文を読む人、採点者、面接官は、文脈を共有しない他者です。だから、発信する文には相手への配慮を持たなければいけません。その配慮の裏づけになるのは、何を伝えるのかということです。それをしっかり持たなければいけません。

記述解答を読んでいると、とりあえず、設問に適した部分を書けばということで作成された不十分なものが多く見られます。確かに部分点はあるかもしれませんが。しかし、ここで、文末への配慮や、文章が読み易いかという配慮を持つことが1点でも高く評価されるためには必要になります。これは記述解答作成の技術的なことではなく、記述解答作成にあたっての心構えです。技術などに依存するのではなく、相手への配慮という心構えをもって文章を作ってみませんか？

また長くなってしまいました。まだ、書きたいです。ひっぱり過ぎという想いもありますが、来月も書きます。(続く)

文責：めがね先生

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★4月のおめでとう★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★
小春学院には現在4月生まれの児童・生徒さんがいらっしゃいませんでした。ただいま募集中！

★★4月の予定★★

①ブログ記事200個達成記念「こはるお食事会」を企画しています。

小春学院のホームページやブログはご覧になられたことがありますか？小春学院のことを広く伝えたいという思いから更新し続けています。ほぼ毎日、ブログは更新を続けてきた結果、なんと200記事更新することができました。何か記念ごとをしようかと考えた結果、みなでお食事会でもしようかと思いつきました。詳しいことの決定が紙面掲載までに間に合いませんでしたので、別紙にてお伝えいたします。

②中学生学カテスト

今月の学カテスト受験最終日は4月28日(土)です。4月の学習内容の復習、事前課題プリントの確認をしっかりと行ってテストに挑戦しましょう。

③小学生学カテスト

4月15日(日)に小学生対象学カテストを実施いたします。中学受験生は国・算・理・社の4教科、公立中学進学生は国・算の2教科を受験します。事前の学習教材もごございますので、しっかりテスト勉強を進めていきましょう。詳しくは別紙『小学生4月号・5月号「学カテスト」のご案内』をご覧ください。

④4月30日(月)～5月6日(日)はゴールデンウィーク休講です。

小春学院カレンダー通り、上記期間は振替授業のない休講となります。ただし、状況に応じて授業や補講を行うこともあります。追ってご連絡いたします。

⑤中学3年生北辰テスト

4月29日(日)は中学3年生の北辰テスト[第1回]の実施日です。十分に勉強してテストに臨みましょう。北辰テスト[第2回]は6月17日(日)です。受付は5月17日(木)～25日(月)です。ぜひテストを活用して、勉強の指針にしていきましょう。

★★今月の「この一問！」★★

今月は英語のことわざの問題です。チャレンジしてみてください。答えは教室で！

次の(1)～(10)の英文の表すことわざをア～コから選び記号で答えなさい。

- | | |
|---|------------------|
| (1)Prevention is better than cure. | ア. 蝦を鯛で釣る |
| (2)Many things happen unlooked for. | イ. 傍目八目 |
| (3)Lookers-on see most of the game. | ウ. 蛇の道は蛇 |
| (4)Nothing venture, nothing have. | エ. 転ばぬ先の杖 |
| (5)Long life has long misery. | オ. 命長ければ恥多し |
| (6)Things done cannot be undone. | カ. 足下から鳥が立つ |
| (7)Learn wisdom by the follies of others. | キ. 憎まれっ子世に憚る |
| (8)Venture a small fish to catch a great one. | ク. 虎穴に入りずんば虎子を得ず |
| (9)The more knaves the better luck. | ケ. 覆水盆に返らず |
| (10)They that hide can find. | コ. 人にふり見てわがふり直せ |

ヒント

(1)予防より治療 (2)思いがけぬことがよく起こるものである (3)ゲームはやっている人よりも、傍から見て人にいちばんよく見える (4)何の冒険もしなければ何も得られない (5)長生きすると苦悩が多い (6)いったんなされた事はもとに戻せない (7)他人の愚行によって英知を学びとれ (8)大漁を捕らえるために小魚を賭けよ (9)悪党は運がよい (10)隠す者はみつけることができる

★★大人のための「この一冊！」★★

戸田奈津子「字幕の中に人生」(白水 u ブックス 1036)

個人的な話です。ある日電車に乗っていると、一人の女性が英文翻訳の参考書を読んでいるところを見かけました。そのときから無性に翻訳の勉強してみたいなどと思い始めていた矢先、ある雑誌で本書の作者である戸田奈津子さんと、鳥飼玖美子さん(同時通訳者、立教大学特任教授)のトークセッションの告知を目にしましたが、当学院での授業のため参加できなかったので、インターネットで検索し、いくつかの書籍を購入しました。その中で、特に私がこれだと思った著作が本書「字幕の中に人生」です。

戸田奈津子さんはご存知でしょうか。ハリウッド映画を見ていると必ず目にするのが字幕です。彼女は日本を代表する映画字幕翻訳家、外国映画の日本語字幕を作成することを職としている方です。この著作の中には、彼女の生い立ちから映画字幕翻訳家になるまでの経緯はもちろん、字幕とは一体何が描かれながら、翻訳ということについて考えさせられる書籍になっています。

こんな考え方を持っていませんか? 「英語ができるようになれば、映画が字幕無しで見ることができるようになる。」「英語ができれば通訳(翻訳)できるようになる。」では、通訳や翻訳で現在活躍している人は英語ができる人なののでしょうか。確かに英語はできます。しかし、注意してほしいのは、英語ができるだけではないということなのです。このあたりから、英語を日本語に訳す、つまり言語を置き換えるということはどういうことなのかを考えることができるのです。本書から引用してみましょう。

「字幕はいうに及ばず、翻訳というものに取り組みばすぐにわかることだが、『語学ができる』ということはスタート・ラインで、決め手は日本語である。『外国語に自信がある』だけでは足りない。日本語の力が問われる。しかも言語は限りなく奥が深く、そのうえ日々、変化している生きものである。言葉への関心をたえずもちつづけることが大切だ。

映画のジャンルは多種多様で、字幕翻訳者はいろいろな世界に首を突っこまねばならない。政治、法律、軍事、医学、未来科学、テクノロジー、スポーツ、音楽、美術…つまりこの世の森羅万象を一人で相手にすることになる。むろん、わからないことがたえずあって、そのたびに専門のかたがたに教えを乞うのだが、最低限の姿勢として、旺盛な好奇心をもちつづけたい。」

映画字幕の特殊性について考えてみましょう。My aunt living in London will come to Tokyo next week.直訳しますと「ロンドンに住んでいる私のおばさんが来週東京に来ます(25字)。」字幕のルールでは「1秒3~4文字、1行につき10文字を2行まで。」となっています。この英文を読むとおそらくネイティブであれば3~4秒。すると字幕は9~16文字で収めなければいけません。直訳ではシーンをまたいでしまうのです。このような事情を考えてみれば、しばしば、「字幕が原文と異なる」という批判が出て、その批判が映画に関してはそれ自体を見直さなければならぬでしょう。そのことについて、以下の引用で確かめてみましょう。

「むろんシナリオは一語一句、練りに練られたものであるはずで、正しく全訳することが望ましい。だが、そこに超えることのできないジレンマが生じる。人は耳で聞くのと同じスピードで文字を読み取ることはできないのである。せりふを全訳して字幕にすると、観客はそれを読みきることができず、読みきる前に字幕はどんどん消えてしまう。なんらかの工夫をして文章を短くしなければならない。」

別の著作ではこんなことも書かれています。

「字幕のせいで感動するべきところで感動できないのは、許されないことです。原文に忠実な直訳をとるか、ドラマの感動を伝える意識をとるかを選ばなければいけない場合は、私は、迷いなく後者を選びます。映画を見終わったお客さんが、字幕を読んでいたことも忘れるくらいドラマにのめりこみ、『ああ楽しかった』『感動した』と言ってくれる。それが、この仕事を始めたときからの私の目標です。」(『字幕の花園』集英社文庫より)

理屈では語れない職人魂を感じませんか？このような魂って実は自分の職業への強い思いがあってのものなのではないでしょうか。

まだまだ本書については書きたいことがたくさんありますが、あとはぜひみなさんに読んでもらうことで。

【編集後記】

文字ばかりの『IDOBATA 会議@Koharu』になってしまいました。誤字脱字は許されないことと存じておりますが、ご了承願いたいと思います。もう少し考えないといけませんね。新学年もスタートして、まだまだバタバタするかと思いますが、皆さんの声をエネルギーに業務に尽力させていただきます。

何かメッセージがございましたら、お書きください。

ペンネーム

この応援メッセージをブログに掲載してもよろしいでしょうか？ はい いいえ

ご協力ありがとうございました。